

奈良女大家政 ○藤本 仁子
 松石 宏子
 梶田 武俊
 長谷川千鶴

1. あくと言われる不味成分は、一般に無機またはその塩類が関係していると言われていたことから、あくの中のえぐ味について検討するため、あくと無機成分との関係をみると共に、無機成分が Tyrosine 代謝経路の p-Hydroxy phenylpyruvic acid Oxidase (p-HPP Oxidase と略す) 活性および Homogentisic acid Oxygenase (H. G. A. Oxygenase と略す) 活性にどのような影響を与えるかについて、今回は蔞酸塩との関連において検討した。

2. あくの強い試料としてほうれん草と春菊を、あくの弱い試料として白菜とキャベツを用い、その主要無機成分の総量と遊離型の量を定量した。また p-HPP Oxidase および H. G. A. Oxygenase 活性はワールブルグ検圧計により測定した。

3. (イ)植物性食品中の主要無機成分の総量及び遊離型については、あくの強いものに無機成分の総量が高く、特にカリウムが顕著であった。

(ロ)ほうれん草および白菜の粗酵素液における p-HPP Oxidase 活性および H. G. A. Oxygenase 活性におよぼす無機成分の影響を検討し、カリウムとしては蔞酸カリウムを添加したところ、ほうれん草、白菜いずれの場合にも p-HPP Oxidase 活性にはほとんど影響を認めなかったが、H. G. A. Oxygenase 活性は幾分抑制する傾向を認めた。このことから蔞酸カリウムはえぐ味の一成分である H. G. A. の蓄積に関係があるように思われる。